

「急性非代償性心不全の実態に関する多施設観察研究」へご協力をお願い

—2007年1月1日以降に循環器内科において急性心不全で入院された方へ—

研究機関名 研究実施施設名 奈良県立医科大学循環器内科
責任研究者 奈良県立医科大学循環器内科 齋藤 能彦、野木 一孝

本研究は奈良県立医科大学医の倫理審査委員会の承認を受け、学長の許可を得て行われています。

■ 研究の意義と目的

- 急性非代償性心不全で入院した患者における、背景や病態、心不全入院後の短期及び長期予後、治療法などについて検討すること。

■

■ 研究対象

奈良県立医科大学循環器内科において2007年1月以降に急性心不全で入院された方を対象にしています。

■ 研究期間

2024年12月31日まで

■ 研究方法

急性非代償性心不全の診断で当院に入院となった20歳以上の患者を全例登録して予後調査を行っているNARA-HF studyのデータと、本邦における急性心不全急性期治療と予後との関係性に関する多施設レジストリー研究であるREALITY-AHFのデータ、急性非代償性心不全患者を対象とした多施設レジストリー研究であるWest Tokyo Heart Failure Registry[WET-HF]のデータ、拡張能障害によるうっ血性心不全の予後予測因子の検討および治療戦略の研究であるMEIDAI-HFのデータを用いて、急性心不全で入院した患者における、背景や病態、心不全入院後の短期及び長期予後、治療法などについて検討します。

■ 取り扱う診療情報(データ)

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除し匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

①患者基本情報(年齢、性別、身長、体重、入院・退院年月日、疾患名、併存疾患、など)、②血液・尿検査、③心臓超音波検査、④心臓カテーテル検査、⑤放射線検査・MRI検査・核医学検査、⑥その他の評価項目、⑦予後

■ カルテ情報の提供

本研究では上述のカルテ情報を匿名化の上、共同研究機関(順天堂大学)へ提供する場合があります。

■ 情報の保護

データからは個人情報を削除し匿名化を行って厳重に保管します。調査結果は個人を特定できない形で関連の学会および論文にて発表する予定です。

■ 問い合わせ窓口

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。御自身の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

奈良県立医科大学循環器内科
教授 齋藤 能彦、医員:野木一孝
TEL:0744-22-3051 FAX:0744-22-9726